



国の建物をつくり、活かす

# 官庁営繕

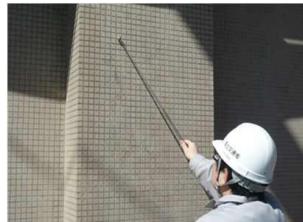
国土交通省大臣官房官庁営繕部 採用案内 [総合職]

# 官 庁 営 繕 と は ？

## ■ 官庁営繕の役割

- ① 官庁施設の整備
- ② 官庁施設の指導・監督（営繕計画書に関する意見書の送付、勧告、保全の実地指導）
- ③ 整備や保全に関する基準の設定（位置・規模・構造並びに保全の基準の設定）

## ■ 官庁施設（国家機関の建築物及びその附帯施設）の総合調整を行っています！



## ■ 計画担当・整備担当・監督担当・保全担当が連携し

安全性、利便性、環境負荷低減などに配慮した官庁施設を実現



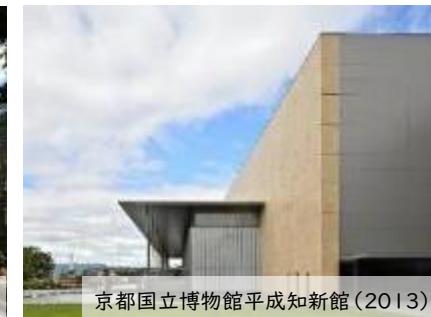
■ 官庁施設には、庁舎をはじめ、研究施設、図書館、博物館、社会福祉施設など、様々なものがあります。

① 官庁施設の整備対象

…対象施設は約4,300施設、約1,500万m<sup>2</sup>

② 官庁施設の指導・監督対象

…対象施設は約13,000施設、約4,900万m<sup>2</sup>



# 主な施策は？

## ■ 防災・減災

地震対策、津波対策などを行って、災害対策活動の円滑化、人命の安全確保、行政機能の早期回復に寄与しています。



屋上にヘリポートを備えるなど、防災拠点としての機能を確保した仙台合同庁舎B棟



屋上の避難スペースや屋外階段の設置などにより、津波避難ビルの機能を確保した石巻港湾合同庁舎

## ■ 老朽化対策

長寿命化やファシリティマネジメントを行うことで、機能・安全性の維持、トータルコストの縮減に寄与しています。



外壁の法定点検に関する施設管理者への保全指導



保全に関する情報提供と意見交換を行う各地区官庁施設保全連絡会議

## ■ 地域社会との連携

地方公共団体との連携、歴史的建造物の保存・活用などを行うことで、利便性の向上、まちづくりに寄与しています。



国、東京都、世田谷区の3者による集約・複合化を行った世田谷合同庁舎



景観に配慮し保存・活用を行った横浜税関本関（横浜市認定歴史建造物）

## ■ 環境対策・木材利用

環境負荷低減に配慮した整備、木材利用の推進を行うことで、CO<sub>2</sub>排出量の削減、地球温暖化の防止に寄与しています。



太陽光発電による再生可能エネルギーの活用



内装に木材を利用した国立アイヌ民族博物館

## ■ 公共建築の先導的役割

先導的な取組、地方公共団体などへの支援を行うことで、公共建築分野の質的・技術的水準の向上に寄与しています。



公共建築相談窓口における、地方公共団体などからの相談対応



BIM(Building Information Modeling)によるコンピューター上の検討

# 代表的なキャリアパス



## ■ 建築系、電気系、機械系の3職種が、専門性を活かしながら連携し業務にあたっています。

**建築系**：意匠設計・建築計画・構造設計・建築史などを専攻

**電気系**：電子制御・電気工学・情報処理などを専攻

**機械系**：ロボット開発・物理学などを専攻

官庁営繕部で採用された方は、営繕部職員として  
だけでなく、国土交通省内、他省庁、外部機関など、  
様々な立場で仕事をすることができます。

## ■ 主な配属先

### 【官庁営繕部】

国土交通本省大臣官房官庁営繕部、地方整備局営繕部、地方整備局営繕事務所

北海道開発局営繕部、内閣府沖縄総合事務局開発建設部営繕課

### 【国土交通省他局】

大臣官房技術調査課、総合政策局、不動産・建設経済局

都市局、住宅局

### 【他省庁】

内閣官房、内閣府、外務省（大使館）、財務省、環境省、

官内庁、警視庁、復興庁、人事院、会計検査院、

国会（衆議院・参議院）

### 【外部機関】

2025年日本国際万国博覧会協会、労働者健康安全機構 他



# 職員インタビュー



## 01 新しい一歩を積み重ねて

佐藤 由美 Sato Yumi  
国土交通省大臣官房官庁営繕部  
部長  
平成5年入省 建築職（当時32年目）

### Profile

- 平成5年 東北地方建設局（現 東北地方整備局）営繕部建築課
- 平成12年 人事院短期在外研究員（カナダ政府機関派遣）
- 平成13年 環境省総合環境政策局環境経済課 課長補佐
- 平成15年 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課 課長補佐
- 平成18年 関東地方整備局営繕部 営繕特別事業対策官
- 平成20年 中国地方整備局営繕部 計画課長
- 平成23年 財務省理財局国有財産調整課 宿舎技術専門官
- 平成25年 国土交通省大臣官房官庁営繕部計画課  
民間資金等活用営繕事業対策官
- 平成26年 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課 営繕技術基準対策官
- 平成28年 国土交通省大臣官房官庁営繕部計画課 営繕計画調整官
- 令和元年 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課 建築技術調整室長
- 令和3年 国土交通省大臣官房官庁営繕部計画課 課長

国は、行政サービスを提供するための場として、たくさんの官庁施設を保有しています。官庁施設が機能しないということがあれば、行政サービスに支障が生じるおそれもあります。また、官庁施設は、地域に根ざし、まちの風景の一部となり、にぎわいの創出などに貢献するものともなっています。

このような官庁施設のライフサイクルでのプロジェクトマネージメント、それが官庁営繕の仕事の中心にあります。

私自身も小規模な庁舎の新築・改修から大規模なPFI事業まで、いくつかのプロジェクトを担当しました。産みの苦しみもありましたが、施設利用者、地元関係者、設計・工事関係者等とともにつくり上げてきたプロジェクトが完成したときは、何とも嬉しいものです。

国のプロジェクトとして実施していくうえで、その時々の社会的課題に対応した政策を具現化するよう取り組んでいます。

大規模地震や激甚化する自然災害に対する防災対策、地球温暖化対策などを、実際の官庁施設の設計や工事において、どのように実施するのか、実践とフィー

ドバックを繰り返しながら検討してきました。このようにして蓄積してきた官庁営繕のノウハウは、基準等として広く公表しており、地方公共団体等における公共建築の整備の現場実務のベースとしても活用いただいているます。

働き方改革、デジタル技術の進展などにより、近年オフィススペースにも変化が生じています。コンパクトシティ化の検討のなかで、公共施設の立地の適正化がテーマとされることもあります。デジタル技術の進展はまた、施設の整備や維持管理の現場実務にも変化をもたらしています。

このような様々な動きのなかで、どのような官庁施設づくりを進めていくのか、どのように施設整備や維持管理の生産性向上を図っていくのかなど、考えしていくことが求められます。

より良い公共建築づくり、公共建築分野の生産性向上などにも資するよう、将来的の官庁営繕を担う皆さんと一緒に、これからのお取組について考えていきたいと思っています。



## 02 官民の力で 地方の課題解決へ

高木 星子 Takagi Hoshiko  
国土交通省総合政策局社会資本整備政策課  
官民連携事業係長  
令和4年入省 建築職（当時3年目）

Profile · 令和4年 国土交通省東北地方整備局営繕部整備課

### 仕事内容

施策立案

企画

社会資本整備政策課では、社会資本整備重点計画の策定や国土交通省所管分野のPPP/PFIの推進等を掌握しています。私の所属する官民班は、省内のPPP/PFIのとりまとめ、地方公共団体への案件形成の推進施策を担当し、私はブロックプラットフォームの企画運営や調査などを主に行ってています。

### 仕事の魅力・やりがい

社会資本整備政策課は、民間企業からの出向者が多く、官民の枠を超えた多分野の方々と交流を通じ、学びの多い日々を過ごしています。業務では、営繕だけでなく、インフラ分野全体に目を向け、地方公共団体におけるPPP/PFIの推進のため、関係部局との調整・連携、悩みを抱える地方公共団体との対話、知見のある民間事業者との情報交換等を通じ、リアルな声を業務に活かせるよう努めています。また、予算要求や国会対応に関する業務も日常的に行っており、自分で施策の企画立案を行える等、責任ある仕事を若いうちから任されることが最大の魅力と感じています。



## 03 災害時の国の活動を守るために

金辻 賢太郎 Kanatsuji Kentaro  
国土交通省大臣官房官房営繕部計画課  
計画調整係長  
令和4年入省 建築職（当時3年目）

Profile · 令和4年 国土交通省中国地方整備局営繕部整備課  
· 令和5年 国土交通省中国地方整備局営繕部計画課

### 仕事内容

企画

官庁施設の防災に関わる仕事をしています。災害発生時の連絡体制を確保するためのルールづくりや防災訓練の実施といった事前の備えを行うとともに、実際に災害が発生した際には情報収集の統括を行っています。

その他にも、営繕工事の働き方改革の推進などの業務にも携わっています。

### 仕事の魅力・やりがい

地震や津波、台風等の風水害によって、官庁施設が被害を受けることも少なくありません。災害発生時に各省庁の職員が災害対応やその他の業務を安全かつ円滑に行うために、官庁営繕部では、官庁施設の被害状況の収集や被害が生じた施設に対する技術支援を行っています。

いつ起こるかわからない災害に備える仕事で大変なこともありますが、災害が起きたときでも国の活動を守る重要な仕事であり、やりがいを感じています。



**04 プロジェクトの土台づくり**

**中尾 静香 Nakao Shizuka**  
国土交通省大臣官房官庁営繕部計画課  
計画第一係長  
令和2年入省 建築職（当時5年目）

**Profile**

- 令和2年 國土交通省中国地方整備局営繕部計画課
- 令和3年 國土交通省中国地方整備局営繕部整備課
- 令和4年 國土交通省大臣官房官庁営繕部計画課 計画基準係長



**05 軸となり、対話で成す**

**宮城 哲 Miyagi Tetsu**  
国土交通省関東地方整備局営繕部整備課  
営繕技術専門官  
平成30年入省 建築職（当時8年目）

**Profile**

- 平成30年 國土交通省関東地方整備局営繕部整備課
- 令和2年 國土交通省大臣官房官庁営繕部整備課特別整備室 構造設計審査係長
- 令和4年 國土交通省住宅局建築指導課建築安全調査室 技術調査係長
- 令和5年 國土交通省大臣官房官庁営繕部整備課施設評価室 施設評価係長

**仕事内容** 企画

官庁施設の整備に関する計画の企画立案、関係機関との連絡調整などを担当しています。

**仕事の魅力・やりがい**

現在担当している計画の仕事は、設計や施工が始まる前のプロジェクトの立ち上げ段階に関わることが多く、必要な予算の確保や条件の整理などを行います。また期間全体を通じて、設計や施工が円滑に進行するよう、関係する他省庁の方々と様々な調整を行います。プロジェクトの土台づくりともいえる仕事に責任とやりがいを感じています。

このように調整役を担う場面の多い計画の仕事では、官庁施設の整備に関するあらゆる知識や経験が必要とされることを日々実感しています。私はまだ未熟ですが、経験豊かな先輩方をお手本にしながら成長していきたいと思っています。

**仕事内容** 設計 施工

関東地方整備局が発注する官庁施設の設計業務や工事において、構造設計担当として、防災・減災をはじめとする施策実現に取り組んでいます。

**仕事の魅力・やりがい**

各プロジェクトでは、建築基準法等の関係法令に加え、求められる役割に応じた官庁営繕の基準を適用し、施策実現を目指します。

各基準には様々な性能規定がありますが、多くはプロセス（設計・施工方法）まで定めておらず、各プロジェクトで技術的検討を重ねて具現化します。施設完成までプロセスの分岐点は数多く、その都度、関係者全員で対話を重ね、最適と思われる道筋を辿っていくことが重要だと感じています。

ここでの整備課職員の役割は、施策実現に向けた“軸”となり、設計者・施工者等との“技術的対話”を主導して、この道筋をデザインすることだと考えています。大小様々な課題が伴いますが、設計者・施工者等との技術力の掛け合わせにより、活路を見出せたときの喜びはひとしおです。



## 06 電気設備の専門職として

近藤 裕介 Kondo Yusuke

国土交通省関東地方整備局営繕部調整課

(併) 技術・評価課 保全指導・監督官

平成25年入省 電気職（当時8年目）

Profile

- 平成25年 国土交通省関東地方整備局営繕部整備課
- 平成27年 内閣府民間資金等活用事業推進室 主査
- 平成29年 国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課 設備企画係長
- 平成30年 国土交通省近畿地方整備局営繕部整備課 営繕技術専門官



## 07 海外から 日本の利益を追求する

小金澤 達 Koganezawa Toru

外務省在ペルー日本国大使館 二等書記官

平成27年入省 建築職（当時8年目）

Profile

- 平成27年 国土交通省四国地方整備局営繕部整備課
- 平成29年 国土交通省土地・建設産業局建設市場整備課労働資材対策室 指導調整係長
- 平成31年 国土交通省大臣官房官庁営繕部計画課 計画第一係長
- 令和2年 国土交通省東北地方整備局営繕部計画課 営繕技術専門官

仕事内容

設計

検査

電気設備に関する設計、工事検査を行っています。

仕事の魅力・やりがい

入省するまでは気にも留めませんでしたが、何気なく使っている機器や配線に工夫やこだわりがあります。どうすれば使いやすくなったり、壊れにくくなったりするのかと日々考えながら仕事に取り組んでいます。

以前、基準・規格の作成に携わった照明技術を、現在、設計中の建物で実際に取り入れようとしています。このように基準・規格の作成から建設まで幅広く関わることが官庁営繕の魅力です。

また、工事検査の仕事では、最終確認者として設計図どおりにできているかを確認するだけではなく、利用者目線になって使いやすさやメンテナンスのしやすさなども確認するよう心がけています。

仕事内容

企画

在ペルー日本国大使館では、経済協力を通じて日本とペルーの二国間関係をより強固なものにしていくために、ペルー政府に対する無償資金協力などのプロジェクトで案件の企画立案、ペルー政府との調整、広報を行っています。また、国土交通省からの出向者として、ペルーの様々なインフラの整備事業において、日本企業の海外進出を支援しています。

仕事の魅力・やりがい

国土交通省からの出向者であることから、建築のみならず国土交通省が所管する道路・港湾・空港・鉄道といったすべての分野の担当者としてインフラ関係の日本企業などから意見を求めるほか、ペルー政府と関係構築や交渉をする必要があります。業務に必要な広範な知識を得ることは簡単ではありませんが、国土交通省の職員として日本企業の海外での活躍をサポートすることで、日本の技術が詰まったインフラがペルーで整備されることに、やりがいと魅力を感じます。



## 08 災害時の活動拠点を守る

石川 誉大 Ishikawa Takahiro  
内閣府政策統括官（防災担当）付参事官  
(復旧・復興担当)付 参事官補佐  
平成28年入省 機械職（当時10年目）

- Profile**
- 平成28年 國土交通省東北地方整備局營繕部整備課
  - 平成30年 國土交通省大臣官房技術調査課 宇宙利用係長
  - 令和2年 國土交通省大臣官房官庁營繕部計画課 長期計画係長
  - 令和3年 國土交通省中国地方整備局營繕部整備課 営繕技術専門官
  - 令和5年 國土交通省大臣官房官庁營繕部整備課施設評価室 営繕技術専門官

**仕事内容** **企画** **設計** **施工** **保全**

内閣府は、政府の防災対策の司令塔として、事前の備えから発災時の災害応急対策、その後の復旧・復興に至る一連の対応を担っています。その中で私は、災害対策本部等が設置される拠点施設の整備や維持管理を担当しています。

### 仕事の魅力・やりがい

官庁營繕では担当することない施設の維持管理に関わることで、使用者側の視点から建物に向き合えることや、施設の実質的な責任者として、これまでの官庁營繕での経験を活かして修繕などを主体的に計画・実施できることが魅力の一つです。

また、内閣府の防災担当には200名以上の職員が在籍しておりますが、建築を背景にしている職員は当方1名だけです。部内における唯一の「建築のプロ」として、頼られることが多いです。

有明にある施設は映画のロケ地に使われることもあり、その立ち会いも密かな楽しみのひとつです笑。



## 09 安心して使える施設のために

日高 彩 Hidaka Aya  
國土交通省大臣官房官庁營繕部設備・環境課  
營繕環境対策室 課長補佐  
平成24年入省 建築職（当時11年目）

- Profile**
- 平成24年 國土交通省九州地方整備局營繕部計画課
  - 平成26年 國土交通省総合政策局公共事業企画調整課 事業調整第三係長
  - 平成28年 國土交通省大臣官房官庁營繕部計画課營繕積算企画調整室 係長
  - 平成29年 國土交通省大臣官房官庁營繕部計画課 計画基準係長
  - 平成30年 國土交通省関東地方整備局營繕部調整課 営繕技術専門官

**仕事内容** **企画**

ZEBなどの省エネルギーの取組や、環境負荷の少ない建築材料の活用を推進することなどにより、官庁施設のライフサイクルCO<sub>2</sub>を低減する方策を企画立案しています。

### 仕事の魅力・やりがい

建築物における環境性能向上への関心が高まる中で、官庁施設に求められる環境性能を実現するためにはどうすればよいか、日々新しい技術や情報に触れ、多方面の関係者と調整しながら方向性を見いだしていくことによりがいを感じています。

また、職員のワークライフバランスのための各種制度も充実しています。私自身、産前産後休暇・育児休業からの復帰後、以前の職務経験を活かして時短勤務ながらやりがいをもって働いています。ライフステージの変化に合わせて働きやすい環境が整っている点も魅力の一つです。



## 10 一般庁舎の整備から 国家的プロジェクトまで

山本 和樹 Yamamoto Kazuki

国土交通省大臣官房官庁営繕部計画課 課長補佐  
(併)復興庁福島国際研究教育機構室 参事官補佐  
平成24年入省 建築職 (当時13年目)

- Profile**
- 平成24年 国土交通省関東地方整備局営繕部整備課
  - 平成26年 復興庁調査・調整班 主査
  - 令和2年 国土交通省大臣官房官庁営繕部計画課 営繕技術専門官
  - 令和4年 内閣府沖縄総合事務局開発建設部 営繕課長

### 仕事内容 企画

首里城復元、大阪・関西万博日本館、福島国際研究教育機構など国家的プロジェクトの事業調整を担当しています。この他、日本スポーツ振興センターなど外部組織が実施する事業に関する技術的な協力をしています。

### 仕事の魅力・やりがい

官庁営繕では、一般庁舎の整備から国家的プロジェクトまで大小様々な事業に関わることができます。それこそが仕事の魅力のひとつです。事業規模に関わらず、私が調整する先の皆さんにはそれぞれ違う背景を持ち、違う組織を背負っています。建築とは無縁な方々もいます。私の仕事はできるだけ誰にでもわかるように物事を伝え、最もスムーズに事業が進むようにマネジメントを行っていくことだと思っています。日々、周りの方々に助けていただきながらも、一歩ずつ事業が進歩していく姿こそがやりがいに繋がっています。

個人的なところでは私は転職をして官庁営繕に入省していますので、新卒・既卒問わず、是非とも官庁営繕にいらしてください。



## 11 職員の多様な専門性を 活かす組織

柳 紀昌 Yanagi Norimasa

国土交通省北陸地方整備局営繕部計画課  
課長  
平成20年入省 機械職 (当時18年目)

- Profile**
- 平成20年 国土交通省近畿地方整備局営繕部設備課
  - 平成24年 国土交通省大臣官房官庁営繕部計画課 計画調整係長
  - 平成28年 内閣府政策統括官(防災担当)付参事官付参事官補佐
  - 令和2年 国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課 設備防災・安全対策官
  - 令和3年 国土交通省北陸地方整備局建設部 住宅調整官

### 仕事内容 マネジメント

所管する地域の官庁施設の整備や保全指導などを行う地方整備局営繕部において、組織の運営や各事業のマネジメントを担当しています。

### 仕事の魅力・やりがい

地方整備局の営繕部は、所管する地域の官庁施設の整備に係る設計、工事監督や施設の保全指導などを行います。計画課では、事業の企画、予算調整や事業全体のマネジメントを担当しています。官庁施設を使用する各省各庁と連携し、職員、来庁者、周辺地域の皆様にとってより良い施設となるような事業の形成、実施に努めています。また、災害対応も重要な業務であり、令和6年能登半島地震の際は、全国の営繕職員の協力も得て、被災状況調査や自治体支援を実施ました。現在も官庁施設に係る復旧事業を進めています。

官庁施設をつくり、活かすために、建築、電気、機械など多様な専門性を有する職員が、それぞれの技術力を発揮して各役割を果たします。そのような組織の中で、私自身も、持てる意欲と能力を活かして、世の中のためになる仕事をしたいと心から思っています。



## 12 現場を動かす

西田 誠 Nishida Makoto

国土交通省近畿地方整備局京都営繕事務所  
所長

平成20年入省 建築職（当時18年目）

Profile

- 平成20年 國土交通省中部地方整備局営繕部建築課
- 平成25年 國土交通省北海道開発局営繕部営繕調整課 営繕監督官
- 平成30年 國土交通省住宅局建築指導課建築安全調査室 課長補佐
- 令和2年 内閣府沖縄総合事務局開発建設部営繕課 課長
- 令和4年 國土交通省大臣官房官庁営繕部整備課 課長補佐



## 13 課題の先にある 達成感を求めて

松本 周介 Matsumoto Shusuke

國土交通省大臣官房官庁営繕部整備課  
官庁施設防災対策官

平成14年入省 建築職（当時23年目）

Profile

- 平成14年 國土交通省関東地方整備局営繕部建築第一課
- 平成24年 在ペルー日本大使館 一等書記官
- 平成27年 國土交通省北陸地方整備局営繕部計画課 課長
- 平成29年 内閣官房新国立競技場の整備計画再検討推進室 参事官補佐
- 令和4年 國土交通省大臣官房官庁営繕部計画課 企画専門官  
(併) 復興庁福島国際研究教育機構室 参事官補佐

仕事内容

施工

マネジメント

営繕工事の発注、現場の監督、官庁施設の管理者に対する保全指導などをしています。これらの実施にあたり、事務所の職員が個々の力を最大限発揮できる職場環境を整えるのも大事な仕事です。

仕事の魅力・やりがい

営繕事務所では、施設整備の最終段階である営繕工事の施工において、現場の監督を担当します。監督業務では、工事が図面のとおりに施工され品質が確保されているか、工程管理は適切に行われているか、安全管理に問題はないかなどの確認を行います。

工事によって困難な点や優先的に押さえるべき点は異なりますが、課題を一つ一つ解決しながら工事を着実に進捗させるのはどの事案でも簡単ではありません。施工が進む中で新たな課題が生じるなど難しい場面も多いですが、現場で様々な技術に触れながら建物が形になるプロセスに立ち会うことができるのは、大きなやりがいの一つではないでしょうか。

仕事内容

企画

國の中央省庁が立地する霞ヶ関地区における施設整備プロジェクトの企画立案、事業調整等を担当しています。

仕事の魅力・やりがい

施設利用者のほか設計者・施工者等そのプロジェクトに携わる多くの方々のニーズを実現するための課題が目の前に現れることは、入省以来就いた様々なポストに共通していますが、それらを一つずつ解決して前に進めていくことこそが官庁営繕の仕事の醍醐味であり面白さだと感じています。

ときには前例がない等困難に直面することも多々ありますが、プロジェクトに関わる仲間とともに、それらを解決したときの達成感は何事にも代えがたい瞬間です。さらにその施設が完成し、関係者の喜ぶ姿を見ることができるのは施設整備に携わる官庁営繕の仕事ならではの特権だと思います。

現在のポストでは、老朽化が進んだ霞ヶ関地区の庁舎を将来的にどのようにすべきか検討しており、達成感を求めて様々な課題に向き合っているところです。



## 14 DXによる生産性の向上のために

橋本 幸治 Hashimoto Koji

国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課

施設評価・デジタル高度化推進室 企画専門官

平成14年入省 建築職（当時23年目）

- Profile**
- 平成14年 國土交通省中部地方整備局営繕部建築課
  - 平成28年 内閣府沖縄総合事務局開発建設部 営繕課長
  - 平成30年 國土交通省大臣官房官庁営繕部整備課 課長補佐
  - 令和4年 國土交通省近畿地方整備局京都営繕事務所 所長

仕事内容

施策立案

企画

BIMをはじめとしたデジタル技術の活用を通じた生産性向上の推進や、事業着手前や完成後の官庁施設の評価に関する取組を行っています。

### 仕事の魅力・やりがい

様々な分野でDXを進める必要があり、私たちが行っている國の施設整備も例外ではありません。言うまでもなく、技術の進歩はすさまじく、気づけば新しいものが次々と出てきます。そういう中で、私たちが行う事業にどういった技術を活用すれば、パートナーである設計事務所や施工会社の方々、全国で現場に立つ國土交通省職員の生産性の向上につながっていくのか。実効性も含め、「ちょうど良い」内容で実施できるよう取り組んでいます。

幸いにも、國土交通省の職員は若いうちから、学識者、設計関係、施工関係の皆様と意見交換を行ったり、最先端の取組に触れたりする機会が多くあるという恵まれた環境です。そういうところに身を置くことができるのも、この仕事の魅力の一つだと思います。



## 15 より良いものを目指して

三ツ木 浩剛 Mitsuki Hirotaka

國土交通省大臣官房官庁営繕部

設備・環境課 設備技術対策官

平成7年入省 機械職（当時28年目）

- Profile**
- 平成7年 建設省東北地方建設局営繕部設備課

- 平成13年 國土交通省関東地方整備局営繕部設備第二課 営繕設計官

- 平成20年 國土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課 課長補佐

- 平成27年 國土交通省近畿地方整備局営繕部 計画課長

- 平成30年 財務省理財局 宿舍技術専門官

- 令和2年 國土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課 営繕環境調整官

仕事内容

施策立案

企画

設計

官庁施設整備における建築設備に関する技術基準の作成や、建築設備に関する技術的課題の調整などの業務を担当しています。

### 仕事の魅力・やりがい

建築設備は、水や電気・ガスなどのエネルギーを扱うこともあり、國土強靭化や脱炭素といった今日の重要な政策課題と深い関係があります。こうした政策課題に対応するため、定期的に技術基準の見直しを行っていますが、設計、施工、材料・機器と広範に及ぶ関係者を始め、意匠、構造といった関連する他分野との調整が欠かせません。全体のバランスを配慮しつつ、建築設備として良いものをを目指す。そのことを意識し、皆で議論をしたりします。最後は実務等を通じて得てきた経験・知識を踏まえ判断することもあります。悩ましくもありますが、充実感のある仕事です。

建築設備には電気、衛生、空調などの専門性をもった分野があり、それ故に多彩な職員が集まっています。こうしたチームで仕事ができることが官庁営繕の強みであり魅力だと感じています。



## 16 建物を長く良好に使うために

米原 賢 Yonehara Ken  
国土交通省大臣官房官庁営繕部計画課  
保全指導室 室長  
平成8年入省 電気職（当時29年目）

- Profile
- 平成8年 北海道開発庁北海道開発局営繕部設備課
  - 平成26年 国土交通省九州地方整備局営繕部 計画課長
  - 平成28年 国土交通省関東地方整備局営繕部 設備技術対策官
  - 令和2年 国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課営繕環境対策室  
企画専門官
  - 令和4年 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課特別整備室 企画専門官

仕事内容 施策立案 企画 保全

官庁施設の適切な保全に向けて、管理官署を技術的に支援するための保全指導の企画、関連基準の整備を担当しています。

### 仕事の魅力・やりがい

国の官署の役割は様々であり、官庁施設もそれに合わせた性能が必要です。例えば、災害対応を行う官署で、災害時に建物が壊れてしまったり、必要な設備機器が動かなくなったりすると、その役割を果たせない状況になってしまいます。建物は建設後、数十年間使用されます。その性能を維持しつつ、長く使うためには、建物の管理段階での「保全」が重要になってきます（非常用の設備が保全不足で非常時に使えない、ということが実際にあります）。

しかし、各施設を管理している担当者は、建築の専門家ではない場合が多いのが実情です。このため、官庁営繕が官庁施設の保全に対する技術的な支援・指導をする役割を担っており、良好な施設維持に寄与しています。頼られる存在として活躍できるところが、営繕職員の強みです。



## 17 地域の魅力を高める 官庁施設

中山 義章 Nakayama Yoshiaki  
国土交通省近畿地方整備局営繕部  
部長  
平成4年入省 建築職（当時31年目）

- Profile
- 平成4年 建設省関東地方建設局営繕部建築第一課
  - 平成14年 国土交通省近畿地方整備局営繕部建築課 課長
  - 平成17年 国土交通省総合政策局建設業課 課長補佐
  - 平成30年 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課木材利用推進室 室長
  - 平成31年 国土交通省中国地方整備局営繕部 部長

仕事内容 マネジメント

地方整備局の営繕部職員が、官庁施設の整備や保全指導等の業務を着実に実施出来るよう、部をマネジメントし働きやすい職場環境を作ることが一番の仕事です。

### 仕事の魅力・やりがい

私たち営繕部職員は、建築、電気、機械の3職種が専門性を活かしながら業務を行っていますが、自分の専門分野だけでなく官庁施設の専門家として幅広い知識と視野をもって仕事を進めることが重要です。

官庁施設には、庁舎をはじめとして様々な種類の施設があります。施設整備にあたっては、各省庁の業務内容を把握しそのニーズに答えるとともに、地域の環境や伝統・文化などを考慮し、その地域の魅力を高める施設整備を心がけています。

様々な国家機関の行政サービスを提供する官庁施設の整備を通じて、魅力ある地域づくりに貢献していきたいと考えています。

## 特集 若手職員へのインタビュー



## 仕事内容 設計

建築意匠分野の設計担当として、東北地方管内の官庁施設の設計業務の業務進行や図面の審査等に携わっています。施設を利用する官署の職員の方からニーズを聞き取り、現地の状況や設計基準等を確認し、日々設計事務所と話し合いながら、設計条件等を整理して、図面に反映させる仕事です。

## 仕事の魅力・やりがい

国民の共有財産という特別な施設の企画・設計・施工・完成後の保全まで、長く一貫して携わることが官庁営繕の魅力だと思い、入省しました。

その際、国全体の施策を取り入れた施設整備が求められる点にも魅力を感じており、例えば、本パンフレットでも紹介されている「木材利用」もその一つです。

私が担当している木造庁舎の設計では、限られた予算内でなるべく多くの木材を利用できるよう、日々設計事務所や施設利用者とやりとりしています。

公共建築の先導的な役割を果たすため、官庁施設の整備を通して、様々な施策を実際に図面に反映できたときにやりがいを感じています。

## 若手職員の1日のスケジュール

- 8:40 自宅（宿舎）を出発
- 9:15 始業・メールチェック
- 10:00 打合せの準備
- 11:00 課内打合せ
- 12:00 昼食（職場の先輩・同期と）
- 13:00 設計業務の現地調査に同行
- 15:30 現地調査で撮影した写真の整理・議事録の作成
- 17:00 設計事務所から提出された図面のチェック作業
- 18:00 退庁
- 19:00 職場のバドミントンサークルに参加し、汗を流す

～世界に冠たる「創造的復興の中核拠点」の整備～

東北地方整備局では、福島国際研究教育機構（通称「F-REI」）の拠点となる施設の整備事業を進めています。

福島県浪江町の約16.9haの敷地において、大規模な研究施設を中心に、管理部門が入る本部施設、食堂等の福利厚生施設、研究内容の発表等を行うホールや短期的に滞在する施設等、延べ面積10万m<sup>2</sup>を超える施設群を整備します。

このような大規模な研究施設等の整備事例は少なく、通常の庁舎設計にはない専門用語等を日々調べながら、実際に入居する研究者等へのヒアリングや類似研究施設の把握、分析を行うことで、要求されている機能を整理し、関係者間で協議を行い、事業を進めているところです。

F-REIの俯瞰イメージ図  
(地区北東側上空より)  
提供: 日建設計・日本設計・  
パシフィックコンサルタント  
設計共同体



## 地方局での勤務について



月山へ登山

国営公園でキャンプ

仕事後に野球観戦



旅行ですら行ったことのなかった仙台での暮らしさは、毎日が新鮮で楽しいです。

休日は、職場の先輩や同期と東北各地にお出かけしてリフレッシュしています。

## 特集 本省係長へのインタビュー



## 仕事内容 施策立案 企画

官庁施設の環境への配慮を進めるため、基本的な環境施策の方針である「官庁営繕環境行動計画」や毎年度重点的に取り組む環境対策の具体的な内容である「環境対策項目」の作成を担当しています。これらの計画等を踏まえ、建物の省エネルギー化や温室効果ガスの削減の取組を進めることで、人と地球にやさしい官庁施設づくりを制度面から支えています。

## 仕事の魅力・やりがい

官庁施設の整備において、高い安全性や性能が求められるだけでなく、環境への配慮も重要であり、全体的な環境施策の方針や制度を作成することはとても意義の大きい仕事だと思っています。企画立案をする際に、日々進化する新しい技術や情報への理解に加え、様々な関係機関との調整も求められ、簡単ではありません。それでも、作成した方針等が、全国の官庁施設の整備方針に反映され、実際の建物として形になっていく過程に関われることに、大きなやりがいを感じています。

## 本省係長の1日のスケジュール

- 8:00 自宅を出発
- 9:30 始業  
メールチェック
- 11:00 各課室調整のための資料の作成
- 12:00 昼食
- 13:15 業務の受注者や各課室との打合せ
- 14:30 打合せ資料を幹部へ説明
- 17:30 明日の業務内容の確認
- 18:30 退庁
- 20:00 近くの銭湯へ

## ～能登半島地震での私の経験～

1～2年目までは、新潟市にある北陸地方整備局で勤務していました。そこで、特に印象深い業務であった、能登半島地震で被災した珠洲市役所の被災状況調査について紹介します。

珠洲市役所と市役所に隣接する産業センターは、水道インフラが復旧後も漏水等の影響で水道が使用できず、市役所職員、来庁者、支援者の方々は屋外に設けられた仮設トイレを使用しなければならない状況でした。

私は、珠洲市役所の被災状況調査に、先輩職員のサポート役として参加しました。漏水箇所と排水状況を調査した結果、漏水系統のバルブの閉塞をすることで、産業センターのトイレだけは使用可能になりました。

利便性や衛生環境を大幅に改善することができ、珠洲市役所の方々に喜んで頂いたときはとても嬉しく、大きなやりがいを感じました。



▲排水状況調査



▲漏水箇所の特定

## 休みの日について



▲沖縄の海でSUP

▲スープカレー  
(北海道旅行)

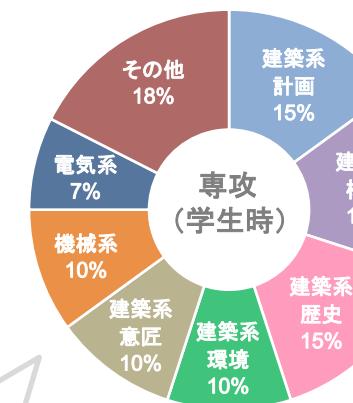
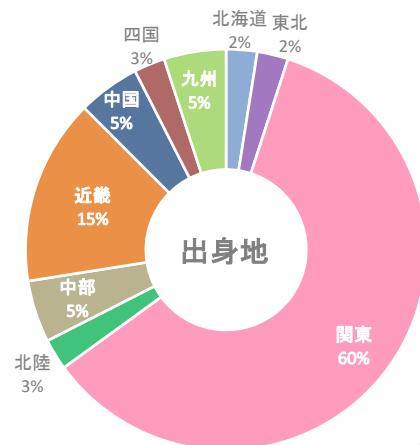
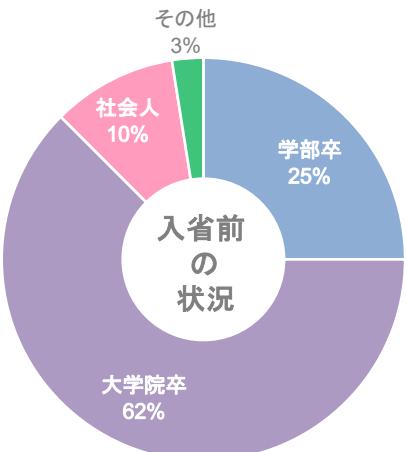
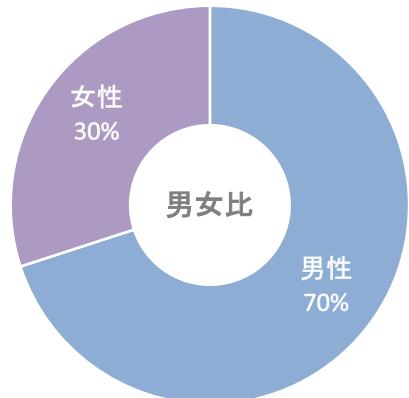
▲キャンプで焚き火

休日には友人と旅行に出かけ、体を動かすことや地元の美味しい料理とお酒を楽しむことが大好きです。最近は、キャンプによく出かけており、焚き火を眺めながら味わう一杯は格別です。

# 若手職員アンケート

■入省1～10年目の総合職若手職員たちに、職場環境や生活のようすについて聞いてみました。

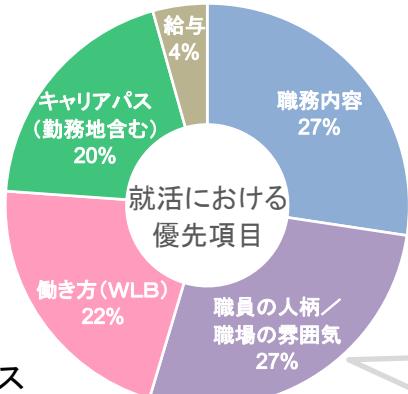
## 基本情報



## 就職活動における優先項目（官庁訪問時点）

就職活動際に重視していたポイントを伺いました。

優先度毎にポイント化し、順位付けした結果、職務内容や職場の雰囲気を評価していましたことがわかりました。



1位

職務内容

2位

職場の人柄／雰囲気

3位

働き方・ワークライフバランス  
キャリアパス(勤務地含む)

4位

給与

5位

## 専攻の詳細

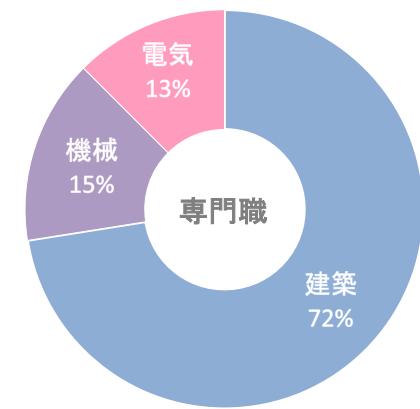
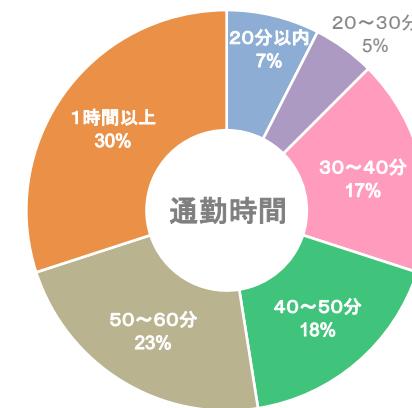
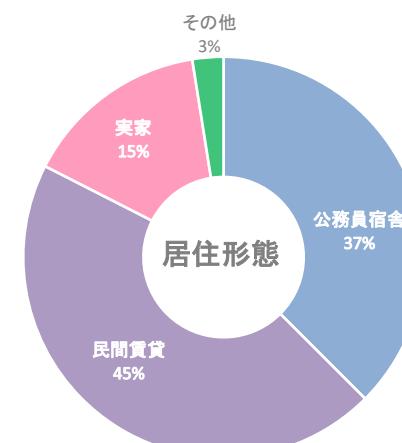
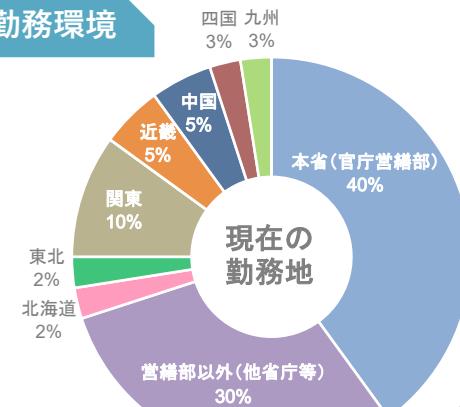
大学での専攻が建築分野ではないことに不安を抱えている方は多いようですが、研究テーマについてアンケートを採ったところ、様々なバックグラウンドから入省されていることがわかりました。

- 建築系計画→映画鑑賞者による都市建築空間の疑似体験を読み取る試み
- 建築系環境→不特定多数の人が利用する空間での感染症リスクの分析
- 電気・機械系→ヘビ型ロボットの制御方法の検討
- 物理系→ゼーベック効果（温度差から電気をつくる現象）を理論的に解析

## 就職の決め手（具体例）

- 歴史的建造物の復元に携わりたかったため。
- 建築の企画から設計施工、その後の保全まで、建物のライフサイクル全体に関わる仕事に携わりたかった。
- 公共建築の標準的な仕様や基準の作成など、発注者としての先導的な役割を担っている点に魅力を感じました。

## 勤務環境



## Q 地方勤務での思い出

通常、入省後2年間の係員時代は地方整備局で勤務することになります。地方局の現場での経験や、勤務地ならではの生活を楽しんだことは、皆さん良い思い出になっているようです。

- 設計事務所や工事施工者と直接的に関わることができ、図面で見ていた建物の工事現場を肌で感じ、最前線で何が起こっているのか学ぶことができました。
- 平城宮跡のような歴史的施設の整備に携わることができました。
- 地盤調査業務について、ボーリング試験や室内土質試験に立ち会いました。
- 部内メンバーで管轄地域内の有名建築を見に行く会に参加しました。
- 整備局の目の前にイベントホールがあり、仕事終わりにビールフェスを楽しみました。
- 同じ地方に配属された同期や後輩たちと熊本や山口に旅行に行ったり、鹿児島でのフルマラソンと一緒にゴールしました。
- TEC-FORCEとして、庁舎の被害状況調査・復旧支援活動に従事しました。
- グルメの食べ歩きを楽しんだり、奥さんとの出会いがありました。

## やりがいを感じたエピソード

- 官庁営繕は新築でも改修でも、ひとつのプロジェクトが終わるまで数年かかるので、自分が関与したプロジェクトが次の担当者、そのまた次へと引き継がれていき、完了に至ります。そのため、関与したプロジェクトが軌道に乗って進んでいるのを耳にした時はとても嬉しく思いました。
- 複数の担当課室と連携し、各地方整備局や各省各庁へ丁寧な説明・日頃の信頼関係を築くことで、施工条件等を双方が納得していただき調整が上手くいったと感じたときは嬉しく思いました。
- 有識者委員会を開催し、全国の営繕事業の方針を決めるような基準の作成に携わったことは、責任も大きいものでしたが、やりがいのあるものでした。
- 入省7年目に、設計審査担当として工事の初期から約2年かけて担当した合同庁舎が竣工したとき。そして翌年度に家族で建物内の町立図書館を利用し、町のご担当者から感謝のお言葉を頂けたときに、強くやりがいを感じました。
- 営繕以外の組織に出ても設計業務に携わってきた経験を頼りにされる。国土交通省内の他部局に出向した際の審査機関への指導業務に生かすことができた。また、官庁営繕部職員は建築職が少ない他省庁への出向で施設管理業務に携わることが多く、通常経験することのない業務ができたと感じている。

## WLB（ワーク・ライフ・バランス）に関する制度の活用

- これまでに2回（1ヶ月と2ヶ月）育児休暇を取得しています。仕事復帰後もフレックスタイム制を活用して、育児と仕事の両立ができます。（子どもが小さいときは16時15分までの勤務にして、夕食やお風呂と一緒に過ごし、子どもが大きくなったら10時から勤務にして、保育園の送りを担当）
- フレックスタイム制を活用し、勤務時間を早めることで電車のラッシュを回避できたり、割り振りを変更することで比較的集中しやすい週初めに勤務時間が多くするなど、柔軟な働き方を選ぶことができました。
- まだ2年目ですが、休暇がこんなにも取りやすいとは思わなかったです。周りの先輩職員もGWや夏季休暇、年末年始以外にも定期的に休暇を取得されており、テレワークを活用することで、私的な用事もこなしやすいです。
- 第1子、第2子の誕生とも、男性ながら育児休業を3ヶ月ずついただきました。育児参加のために良いスタートを切ることができ、また、かけがえのない時間をいただきました。



## 妊娠・出産・育児・介護と仕事の両立支援制度の紹介

## 妊娠に関する制度

- 出産サポート休暇
- 深夜勤務・時間外勤務の制限
- 健康診査・保健指導を受けるための職専免
- 業務軽減
- 休息・補食のための職専免
- 通勤緩和のための職専免

## 出産に関する制度

- 産前休暇
- 産後休暇
- 配偶者出産休暇
- 育児参加のための休暇

## 育児に関する制度

- 育児休業
- 子の看護等休暇
- 育児短時間勤務
- 育児時間
- 保育時間

## 介護に関する制度

- 介護休暇
- 介護時間
- 短期介護休暇

## オフの過ごし方【リフレッシュ】

- 旅行、キャンプ、登山、サイクリング、BBQ
- 飲食店巡り、美術館・博物館巡り、観劇・映画鑑賞
- スポーツ観戦、社会人バスケ
- 料理、楽器演奏、読書、家族団らん、ゲームなど

## オフの過ごし方【自己研鑽】

- 一級建築士、建築設備士、電気主任技術者などの資格勉強
- ジム、ランニング
- 読書、旅行先での建築巡り、語学学習など

## その他の制度

- フレックスタイム制
- 早出遅出勤務
- 深夜勤務の制限
- 超過勤務の免除
- 超過勤務の制限
- 休息時間の延長
- 休憩時間の短縮

## 利用可能職員

- …男女とも
- …女性のみ
- …男性のみ

※「職専免」とあるのは、「職務専念義務の免除」の略で、職員は各省各庁の長の承認を受けて勤務しないことができます。

# Q & A

## ■ ①最近の採用状況を教えて下さい。

→総合職の技術系全体で80人程度採用されている中で、官庁営繕では、建築系・電気系・機械系の職員を毎年数人程度採用しています。

## ■ ②官庁営繕では、どのような人材を求めていますか？

→官庁営繕は官庁施設の総合調整役であることから、ものづくりが好きな方、チームワークやコミュニケーションを大切にする方を求めてています。

## ■ ③志望できる大学の専攻は決まっていますか？

→特に決まりはありません。官庁営繕には、建築系・電気系・機械系のほか、多様な専攻の方が入省しています。

## ■ ④入省後、どのように専門的な技術力を習得することができますか。

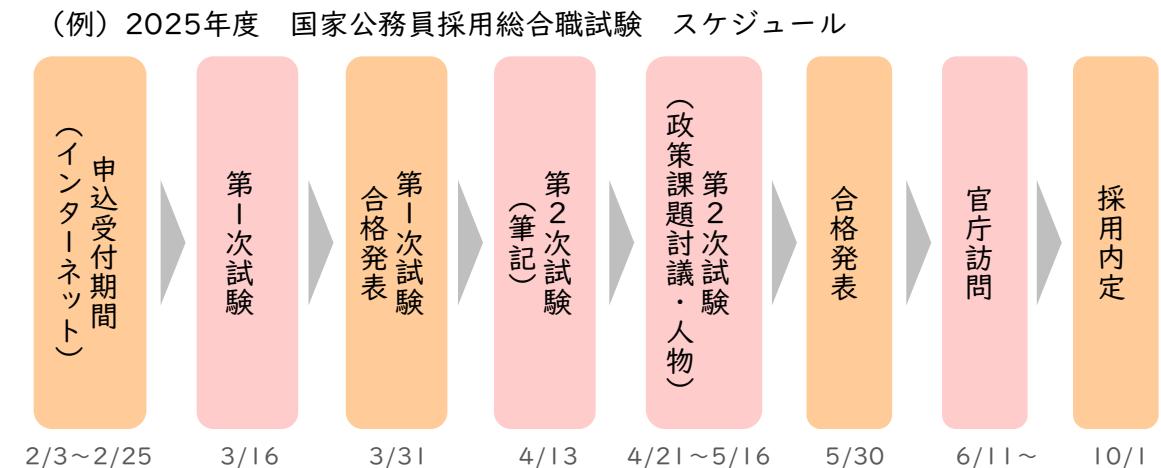
→建築や設備の専門的な技術力は、入省後の実務経験の中で習得することができます。また、得られた技術力を活かし、一級建築士、電気主任技術者、設備士などの資格を取得することができます。

## ■ ⑤官庁訪問への対策として、何か準備しておいた方がよいことはありますか？

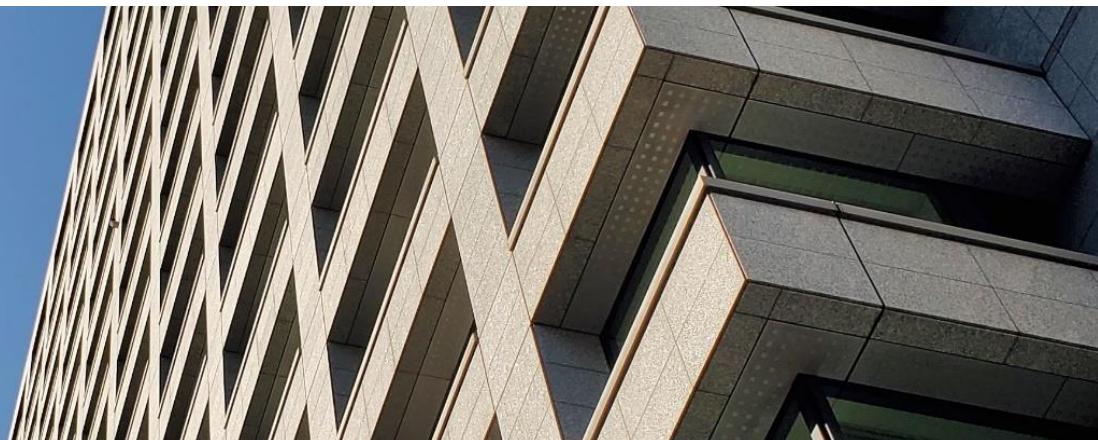
→事前に業務説明会やOB訪問などを活用いただき、自分が成し遂げたいことや、入省後のイメージを持っておきましょう。

# 国土交通省の職員になるには？

- ①国家公務員採用試験に合格  
(詳細は人事院採用HP※参照)
- ②業務区分ごとに官庁訪問  
(詳細は国土交通省採用HP参照)
- ③採用者を決定



※試験・採用に関する最新情報は、国家公務員試験採用情報NAVIへ  
URL : <https://www.jinji.go.jp/saiyo.html>





大臣官房 官庁営繕部

国土交通省大臣官房官庁営繕部 〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-2 中央合同庁舎第2号館13階

問合先(電話) : 総合職(官庁営繕建築職に関する採用窓口) 官庁営繕部計画課 営繕計画調整官 03-5253-8111(内線23202)

総合職(官庁営繕電気職・機械職に関する採用窓口) 官庁営繕部設備・環境課 設備技術対策官 03-5253-8111(内線23702)

問合先(メール) : [hqt-eizenrecruit@gxb.mlit.go.jp](mailto:hqt-eizenrecruit@gxb.mlit.go.jp)

